

第 1 章 調査目的及び調査推進体制

1-1 大阪湾の船舶交通環境の背景

大阪湾は我が国有数の船舶輻輳海域であり、明石海峡では 1 日平均 9 0 0 隻、友が島水道では約 4 0 0 隻の船舶が航行しており（海上保安庁第五管区海上保安部 2003 年調べ）、さらに大阪湾で操業する漁船は大阪府と兵庫県を合わせて 1 日平均 3 0 0 隻、最大約 9 0 0 隻にも上ること（関西国際空港株式会社 2004 年調べ）から船舶交通安全、漁船の安全操業の確保が大きな課題となっている。

1-2 調査の目的

「国際物流戦略チーム」がとりまとめた緊急提言「広域連携を通じた国際競争力強化に向けた提言」においては、神戸港と大阪港のより一層の連携の深化による世界トップクラスのコスト・スピード・サービスの実現や公社民営化等による「埠頭公社改革」の推進、大阪湾諸港の一開港化等が盛り込まれ、当該提言は首相官邸や国土交通大臣他の中央省庁に提出されたところである。また、平成 18 年 8 月 5 日に開催された「国際物流シンポジウム - 関西の国際物流戦略 - 」(主催：国際物流戦略チーム)の基調講演において北側一雄国土交通大臣(当時)より、国際競争力の強化のためには大阪湾諸港の連携が非常に重要であり『大阪湾諸港の一開港化の早期実現のため、9 月にも地元関係者による検討委員会を設置し、船舶交通流の実態や大阪湾諸港の連携による影響等を検討し、利用者合意の上で、明年にも法令を改正し、大阪湾諸港の一開港化を実現したい』と表明がなされた。この大臣の表明を受けて、平成 18 年 9 月に「大阪湾諸港の包括連携施策推進会議」が設置され、港湾手続の一元化・IT 化、一開港化、入港料の低減、海上輸送の連携策等の具体的施策の検討が開始されたところである。

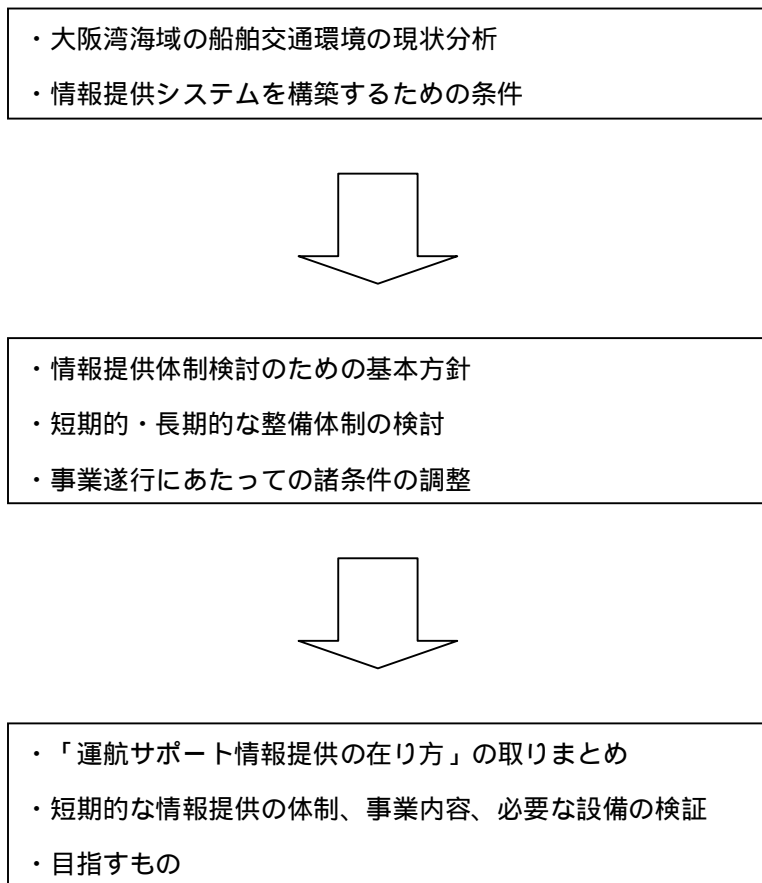
本調査は、このような大阪湾を取りまく港湾の連携に向けた取り組みの一環として、大阪湾の船舶交通環境の課題の解決に向け、IT を活用し大阪湾海域利用者間の情報疎通を図ることにより、大阪湾を通航する船舶の安全かつ効率的な運航を支援する方策の検討を目的とする。

具体的には、船舶運航サポート情報の提供について、その情報提供体制の在り方等の検討を行い、海域利用者共通の願いである「安全で効率的な船舶運航」を情報面で支援するシステムを構築するための方策を明確にし、大阪湾を通航する船舶の安全かつ効率的な運航を図ることにより国際競争力の強化を目指すものである。

1-3 調査推進体制

(1) 推進会議の進め方の概要

本調査を進めるにあたり、神戸大学大学院の井上欣三教授を委員長に海域利用関係者(大阪フェリー協会、大阪湾水先区水先人会、漁業協同組合連合会など)、港湾管理者(大阪府、大阪市、兵庫県、神戸市)、行政機関(近畿地方整備局、近畿運輸局、神戸運輸監理部)、関西国際空港で構成する「大阪湾船舶運航サポート情報提供推進会議(以下、推進会議という。)」を平成19年8月9日に設置し、また、同日、推進会議の作業部会として、「大阪湾船舶運航サポート情報提供推進会議作業部会」を設置することとした。進め方については、下図の業務フローに従って実施した。



【業務フロー図】

(2) 推進会議における検討項目

大阪湾海域の船舶交通環境の現状分析(第2章)

大阪湾における海上交通情報収集及び船舶運航支援情報の提供状況について、実施機関等の現状調査を行い、海域利用者への情報提供の諸課題や問題点等の抽出を行い、解決に向けた方策を明確化した。

大阪湾における運航サポート情報提供の整備(第3章)

大阪湾における船舶の運航を支援する情報提供の必要性、情報の内容、提供組織、費用負担の在り方、将来像等について、現状を踏まえた短期的・長期的な体制整備に向けた方針等を検討し、関係者合意形成のための課題等を整理した。

(ウ) 大阪湾における運航サポート情報提供の短期的な体制(第4章)

検討結果をもとに短期的な情報提供の体制、事業内容、必要な設備の検証等について、検討し、明確化した。

(I) 目指すもの(第5章)

調査・検討のまとめとして、大阪湾における運航サポート情報提供システムが今後目指す方向性を大阪湾憲章として提言した。

(3) 推進会議のメンバー

事務局は、近畿運輸局海事振興部並びに近畿地方整備局港湾空港部で行うこととし、近畿運輸局長が下記の委員名簿のとおり推進会議の委員を委嘱した。

大阪湾船舶運航サポート情報提供推進会議 委員名簿

職 名	氏 名	所 属 ・ 役 職 名	備 考
委員長	井 上 欣 三	神戸大学大学院海事科学研究科教授	[学識経験者]
委員	澤 野 均	大阪府港湾局参事	[地方公共団体]
〃	澄 田 泰 造	兵庫県県土整備部港湾課長	〃
〃	木 村 正 敏	大阪市港湾局経営管理部長	〃
〃	美 濃 孝 行	神戸市みなと総局みなと振興部長	〃
〃	津 組 修	関西国際空港(株)総務部担当部長	[関西国際空港]
〃	阿 部 哲 夫	大阪フェリー協会会長	[海運関係体]
〃	大久保 洋三	大阪湾水先区水先人会会長	〃
〃	嶋 村 良 孝	関西国際空港内航タンカー安全協力会会長	〃
〃	山 本 竹 彦	大阪船主会会長	〃
〃	今 西 邦 彦	(社)日本船長協会技術顧問	〃
〃	藤 田 泰 寛	大阪府漁業協同組合連合会専務理事	[漁業団体]
〃	山 口 徹 夫	兵庫県漁業協同組合連合会専務理事	〃
〃	奥 野 省 三	神戸運輸監理部海事振興部長	[国土交通省]
〃	篠 原 正 治	近畿地方整備局港湾空港部長	〃
〃	中 西 章 夫	近畿運輸局海事振興部長	〃
〃	大 高 慎 自	近畿運輸局海上安全環境部長	〃

大阪湾船舶運航サポート情報提供推進会議作業部会 名簿

職名	氏名	所属・役職名	備考
座長	井 上 欣 三	神戸大学大学院海事科学研究科教授	
メンバー	松 田 敏 彦	大阪府港湾局総務部振興課長	
"	興 津 廣 樹	兵庫県県土整備部港湾課課長補佐兼振興係長	
"	北 村 徹 玉 井 恵 一	大阪市港湾局経営管理部担当係長 大阪市港湾局経営管理部海務担当課長	前任 後任
"	土 橋 保	神戸市みなと総局みなと振興部海務課長	
"	小 路 公 也	関西国際空港㈱総務部調整グループリーダー	
"	白 野 哲 也	大阪フェリー協会専務理事	
"	村 井 五 郎 竹 口 信 和	大阪湾水先区水先人会理事(海務担当) 大阪湾水先区水先人会副会長	
"	黒 田 正 則 中山 三紀夫	関西国際空港内航タンカー安全協力会事務局	前任 後任
"	松 本 一 郎	大阪船主会理事	
"	今 西 邦 彦	(社)日本船長協会技術顧問	
"	古 川 久 晴	大阪府漁業協同組合連合会合併推進課長補佐	
"	田 中 久 善	兵庫県漁業協同組合連合会組織統括本部指導部総括	
"	石 定 洋 子	神戸運輸監理部海事振興部旅客課長	
"	塚 本 量 敏	神戸運輸監理部海上安全環境部運航労務管理官	
"	酒 井 敦 史	近畿地方整備局港湾空港部港湾計画課長	
"	芳 鐘 功	近畿運輸局海上安全環境部船舶安全環境課長	
"	岡 室 孝 美	近畿運輸局海事振興部貨物・港運課長補佐	